

第 4 回基本計画審議会における傍聴者数と意見・感想

◇第 4 回審議会傍聴者数

		傍聴者数
会場	一般	4 人
オンライン	一般	7 人
	区職員	53 人
合計		64 人

※動画視聴回数（1 月 11 日 13 時時点）：130 回

◇傍聴者意見

（傍聴者 A）

①汐見先生（委員）が発言された「哲学」的視点を、「コンセプト」、「基本方針」、の中でどう生かしたのかを、次回（第 5 回）の審議会で見分りやすく示して頂きたい。（例）ツリーで関係性を示すなど

（傍聴者 B）

・介護、福祉も重要ですが、本人の意欲の向上がもっとも大事という意見は賛同しました。本人の意欲を向上させることができる取り組みが望ましい。

・計画が、絵に描いた餅になっては意味がない。計画では、「区民の命を守る」や「こども真ん中」と言った言葉が踊るが、現在そうなっているかは疑わしい。子供の不登校が増えている、という話が出た。不登校の生徒のケアももちろん重要だが、なぜ不登校が増えているのか分析することも大事だろう。大人は楽しく飲み会しているのに、子供の給食は黙食を強いたりすることも原因のひとつではないか？ 区民の命を守るため、超過死亡の原因や出生率の低下の分析もしてほしい。

要望

- ・世田谷は農地が多いので、特色を生かして、自家菜園の振興を
- ・給食無償化とオーガニック化
- ・縦の移動が難しい→世田谷区縦断する埼玉⇔川崎モノレールの建造

（傍聴者 C）

本日は貴重な御意見を聞かせていただきありがとうございました。大変勉強・参考になりました。全体の流れとしてコンセプト、基本方針、重点的な課題、重視すべき考え方を議題として意見交換されました。コンセプトで 5 つの基本的方向が示されすばらしいと思いますが、基本方針の 5 つでは「全国をリードする区政」とか「心が豊かな社会」とか現実・住民から離れた方向となり、少し政治的観念的に流し込んでいるように見えます。コンセプトの 5 つをもっと住民と向きあう方向で具体化してほしい。「お皿」論も地域性でなく世田谷全体が「皿」であり、その「皿」は住民が主体だと思います。その主体の住民は世田谷では格差がさらに拡大しており、生活水準の高い層が多く低い層が区民全体から絶対量が少ないため、これが見えにくくなっています。貧困が深刻です。ここにもっと照点をあてて行政、区政のあり方を定めてほしいと願うものです。